

8	(地独) 東京都健康長寿医療センター	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 年度計画の実施 (令和3年度)
事業概要	平成30年度から令和4年度までの5年間の計画期間とする中期計画を達成するため、令和3年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展並びに経営基盤の改善について着実に実施する。	
これまでの経過	<p>平成21年4月：法人を設立し地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター中期計画に基づいた業務運営を開始</p> <p>平成30年3月：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第三期中期計画認可決定</p> <p>平成30年6月：第二期中期目標期間(平成25～29年度)業務実績等報告書及び平成29年度財務諸表及び業務実績等報告書を都へ提出</p> <p>平成31年3月：令和元年度計画を都へ提出</p> <p>令和元年6月：平成30年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出</p> <p>令和2年3月：令和2年度計画を都へ提出</p> <p>令和2年6月：令和元年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出</p> <p>令和3年3月：令和3年度計画を都へ提出</p> <p>令和3年6月：令和2年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出</p> <p>令和4年3月：令和4年度計画を都へ提出</p>	
現在の進行状況	<p>【センター全体】 令和3年10月～令和4年3月：新型コロナウイルス感染症への対応として、陽性患者の受入、医療従事者・住民等へのワクチン接種の実施、都が実施する宿泊施設活用事業への看護師派遣、大規模ワクチン接種会場への看護師・薬剤師派遣等を実施</p> <p>令和4年3月：第6回理事会にて令和4年度予算及び年度計画の決定</p> <p>【病院部門】 令和3年10月～令和4年3月：平均在院日数11.6日、病床稼働率72.8%で推移 (前年同期：平均在院日数11.7日、病床稼働率70.1%)</p> <p>【研究部門】 令和3年10月：「高齢の慢性腎臓病患者は血中ビタミンC濃度が低く、血液透析によりビタミンCが減少する」をプレス発表</p> <p>令和3年11月：「住民同士のつながりが強く、政府信頼が高い都道府県ほど、新型コロナウイルス感染症による死亡率が低い」をプレス発表</p> <p>令和4年3月：「高齢期の体組成・体力とその健康影響—男性では骨格筋量、女性では脂肪量が筋力・歩行能力と独立して余命に影響—」をプレス発表 その他7件をプレス発表</p> <p>令和4年2月：研究所外部評価委員会を開催、学識経験者、都民代表者及び行政関係者による外部評価を実施</p>	
今後の見通し	<p>高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療並びに研究拠点としての役割を引き続き果たしていく。また、病院部門、研究部門、経営部門の連携を一層強め、第三期中期計画及び年度計画に基づき、着実に事業を実施する。さらに、新型コロナウイルス感染症への対応を適切に行っていく。</p> <p>病院部門では職種の枠を超えたチーム医療の推進、医療連携の一層の強化に努め、地域全体で継続的な一貫性のある医療を目指していく。</p> <p>研究部門は高齢者の健康維持や老化・老年学の予防法・診断法の開発等に関して、老化のメカニズムや老化制御等の基礎的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疫学研究や社会調査等による社会科学的研究を実施する。</p>	

<p>今 後 の 見 通 し</p>	<p>また、認知症未来社会創造センター、フレイル予防センターの2つの組織を運営し、医療と研究が一体となり、一層の社会貢献に向けて取り組むとともに、新たにスマートウォッチ等のデジタル機器を用いた健康づくりに向けた研究プロジェクトを始動する。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 経営企画局 事務部 経営企画課</p>	<p>電話</p>	<p>03(3964)1141</p>